

(仮称)「新空港線沿線まちづくり構想」の策定について

1. 背景と目的

新空港線の整備については、本年6月6日、これまで課題であった都区間の費用負担割合などについて合意がなされ、その実現に向け大きな一歩を踏み出した。

新空港線やこれに接続する各路線の沿線のまちが、将来どのように変化するのかといったことへの区民の関心は高く、今後、区民の理解のもとに新空港線の整備を着実に推進していくためには、新空港線とともに発展を遂げる沿線のまちの将来像や、その実現に向けた道筋などを示していくことが重要である。

このため、中長期を見据えた(仮称)「新空港線沿線まちづくり構想」を策定し、これに基づき新空港線の整備による効果を最大限発揮させていく。

2. 各種計画との整合

(仮称)「新空港線沿線まちづくり構想」は、新空港線の整備が沿線地域及び区全体に影響を与えることを踏まえ、「新おおた重点プログラム」(令和4年3月更新)や「都市計画マスタープラン」(令和4年3月)などの区政の基本計画やまちづくり計画なども整合を図りながらとりまとめる。

3. 構想の概要

(1) 対象範囲

二期整備(京急蒲田～大鳥居)も含めた新空港線沿線の各駅及び新空港線に接続する路線の各駅の周辺地区

(2) 想定年次

2030年代～2050年頃

(3) 構想に取り入れる要素(例)

蒲田のグランドターミナルとしての再編、最先端の駅空間の創造、脱炭素、沿線地域における防災、踏切対策、景観整備、水辺空間の活用、無電柱化、次世代モビリティ、ユニバーサルデザイン、水素活用、SDGs、DX等

4. 取組スケジュール(予定)

令和4年12月 中間とりまとめ

令和5年1月 パブリックコメント

令和5年3月 構想(案)公表